



(地独) 大阪府立産業技術総合研究所

機器利用技術講習会のご案内

【製品の製造から流通過程で発生する微生物異物の解析・同定】

— 形態観察から微生物の菌種同定まで —

大阪府立産業技術総合研究所では、所有している試験研究機器等を用いて中小企業の皆様の新技術・新製品の開発や生産管理・品質管理のお手伝いをしています。これら試験研究機器の利用範囲、性能などの特徴をより具体的にご理解いただき、皆様方に一層ご利用いただくため、下記の要領で講習会を開催しますのでご案内申し上げます。

◆ 日 時：平成24年11月22日（木） 13：20～15：20

◆ 場 所：(地独) 大阪府立産業技術総合研究所 (和泉市あゆみ野 2-7-1 TEL 0725-51-2518)
本館4階 談話室2

◆ 定 員：10名

※ 受講者は先着順で決定します。(受講票は発行いたしません)

※ 定員を超えたときは、お断りする方のみご連絡いたします。

※ 受講にはTRIカードが必要です。まだお持ちでない方は当日お申し込みいただけます(無料)。

◆ 費 用：無 料

◆ 申込み先：(地独) 大阪府立産業技術総合研究所 顧客サービス室 顧客サービス課

※ お申し込みはメール(fukyu@tri-osaka.jp)か FAX([0725-51-2509](tel:0725-51-2509))でお願いします。

なお、メールでお申し込みを頂いた方のみ、返信にて受付をお知らせします。

◆ 内 容：

種々の製品あるいはその製造工程での異物(微生物)の発生は、生産管理上、大きな問題です。このため、その原因となる微生物の単離及び菌種同定は、異物混入の原因究明に必要不可欠です。本セミナーは、第1部で、微生物が原因と考えられる異物の発生から原因微生物の同定までの流れについて解説を行い、その後、第2部として、位相差顕微鏡写真撮影システムを用いた微生物の形態観察、DNAシーケンサーを用いた塩基配列解析と菌種同定について実演を行います。

微生物が原因と考えられる異物は、食品、繊維、皮革、プラスチック、紙製品など多くの分野で発生します。また、製品の製造時だけでなく、製品保管時、流通時、最終ユーザーに届いた後でも発見される場合があります。このことから、幅広い分野及び業種の方々のご参加をお待ちしています。

・ 講義「微生物異物の解析・同定」 13：20～14：20

微生物が原因と考えられる異物が発生した場合の対応方法として、異物の発生から原因微生物の同定までを、形態観察、微生物の検出、及び遺伝子解析による微生物の同定法を中心にわかりやすく解説します。

・ 実演「顕微鏡写真撮影システム」及び「DNAシーケンサー」 14：20～15：20

「顕微鏡写真撮影システム」

微生物の形態観察は、主に位相差顕微鏡により行います。実演では、顕微鏡にデジタルカメラ写真撮影システムを接続し、微生物の形態観察を行います。

「DNAシーケンサー」

DNAシーケンサーは、DNAの塩基配列を自動的に読み取る(シーケンスする)装置です。実演では、微生物の塩基配列解析と相同性解析を行って、微生物の菌種同定を行います。

なお、装置／実演試料等に関するご質問は、下記講習担当者までお問い合わせください。

◆ 講習担当：(地独) 大阪府立産業技術総合研究所 (TEL：0725-51-2518)

化学環境科

主任研究員 増井 昭彦

主任研究員 井川 聡

